

『がん患者におけるヒドロモルフォンの呼吸困難に対する臨床効果の検討』

【目的】がん患者さんでは呼吸困難が起こることが多く、また症状が重いことが多い。症状を緩和させるにはモルヒネが推奨されているが、ヒドロモルフォンの化学構造の類似性から効果が期待され、また腎機能が低下している患者さんにも使用できるといわれている。しかし有用性は検証されておらず多くは臨床経験に基づく理由からである。そこで当院におけるヒドロモルフォンの使用状況を調査するとともに呼吸困難に対する臨床効果を評価した

【期間】2017 年 9 月～2021 年 6 月

【方法】

＜対象となる患者さん＞

2017 年 9 月 1 日～2020 年 1 月 31 日までに当院で呼吸困難緩和のためナルサス錠、ナルラピド錠、ナルベイン注で治療を受けた方

＜研究に用いる試料・情報の種類＞

試料：なし

情報：ヒドロモルフォン投与前後の効果をカルテから抽出

◎研究への参加について

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、遠慮なく研究責任者にお伝えください。たとえお断りになっても今後の治療において不利益を受けることはありません。

この研究について、心配なことや、わからないことがあれば、いつでも遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産権の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター

〒573-8511 大阪府枚方市星丘 4-8-1

TEL (072) 840-2641 (代)

所属・職名 薬剤部・主任

研究責任者 坂野 玲子